

患者の皆様へ

2019年12月22日

血液内科

現在、血液内科では、骨髄異形成症候群（MDS）に関する調査研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では過去に当院で MDS と診断され、日本成人白血病共同研究グループ（JALSG）CS11 研究に登録された患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「前向き観察研究に登録された骨髄異形成症候群における、同種移植までの橋渡し治療と移植成績の検討」

JALSG AML/MDS/CMML Clinical Observational Study (JALSG-CS)-11 MDS-SCT

2. 研究の意義・目的

同種移植までの橋渡し治療別の治療奏効率と移植成績、および診断後治療による有害事象等で移植を断念せざるを得なくなった事由等から、MDS における同種移植までの最良の橋渡し治療を明らかにすることを目的とします。

3. 研究の方法

過去に当院で MDS と診断され、CS11 研究に登録した方の診療情報（診断時採血検査所見、治療内容、効果、移植の有無、移植を行った場合の移植情報、移植が行われなかった場合の理由、予後）を JALSG に提供し、他の協力施設で収集したデータと併せて解析を行います。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院血液研究室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院 血液内科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院血液内科 医師 堺田恵美子

043 (222) 7171 内線 5259